

6月議会

清水町 議会だより

No.204

2024年7月30日

発行／静岡県駿東郡清水町議会



ゆうすい商店会主催の
第8回ホタルまつり in 清水町



早くホタルに会いたいな

中学3年生への 予防接種費助成拡大……………	2
可燃ごみの安定的な処理を目指して 事務委託の規約の協議……………	3
一般質問 10人が町政を問う ……	4
ようこそ議会へ 傍聴者へのアンケート…	14
議員がインタビュー ホタルまつり ……………	16

中学3年生への 予防接種費助成拡大

6月 定例会

令和6年第2回定例会を6月3日から6月20日までの18日間にわたり開催しました。
一般廃棄物の処理に関する事務の委託に係る協議のほか、条例の一部改正、一般会計補正予算や特別会計補正予算など12議案が提出され、同意・承認・可決しました。
一般質問では、10人の議員が質問しました。

令和6年一般会計補正予算（第2回）
4億3732万円の追加

主な事業

定額減税調整給付金
1億8615万円
土地区画整理事業
技術的援助に伴う
現況測量等業務
5061万円

物価高騰対応
新たに非課税等世帯となる
臨時給付金
1億1950万円
玉川卸団地線周辺ま
ちづくり事業の完了ま
でのスケジュールは。

中学3年生新型コロナ
ウイルスワクチン等
予防接種費助成
125万円
令和8年度に市街化
区域編入、令和9年度に
土地区画整理組合の設立
認可を経て、造成工事
に着手し、令和19年度の
完了を目指している。

問 中学3年生新型コロナ
ウイルス等予防接種費
助成の目的は。

答 接種を希望された方
の経済的な負担軽減を目
的に実施する。

令和6年第2回定例会審査結果

議案	森野夏歩	海野豊彦	田代稔	寺島俊郎	野田敏彦	向笠達也	飯田安雄	花堂晴美	松下尚美	大濱博史	松浦俊介	吉川清里	佐野俊光 （議長）	審議結果
人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
専決処分の承認 （清水町税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
専決処分の承認 （清水町都市計画税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
専決処分の承認 （清水町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
専決処分の承認 （令和6年度清水町一般会計補正予算（第1回））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
一般廃棄物の処理に関する事務の委託に係る協議	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
清水町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
清水町地方活力向上地域における固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
清水町空家等対策協議会設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
令和6年度清水町一般会計補正予算（第2回）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
令和6年度清水町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1回）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決

○ 賛成、●は反対、議長は議事を行うため、賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ裁決します。

可燃ごみの安定的な処理を目指して

事務委託の規約の協議

規約協議

一般廃棄物の処理

町から出る可燃ごみの処理と灰の処分に関する事務の管理と執行を沼津市に委託するため、地方自治法の規定により規約を定める。

問 規約を作る理由は。

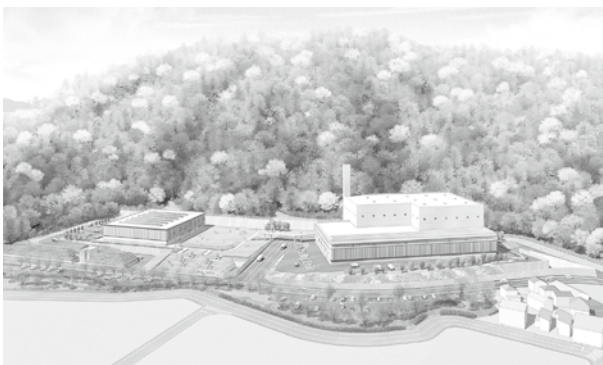
答 平成25年の沼津市との協議により、町の可燃ごみが沼津市に受け入れられることとなったが、処理の方法は検討課題となっていた。令和5年間の協議が進展し、沼津市との間で基本的な事項の合意ができたため、地方自治法上の事務委託について、両議会に上程することになった。

条例改正

地方活力向上地域における固定資産税の特例に関する条例の一部改正

問 本社機能の移転拡充に向けた取組の推進は。

答 本社機能の移転・拡充は、税収の増加、雇用の創出など、地域の活性化を図る上で重要である。融資等の窓口となる金融機関を通じて周知を図り、多くの企業の進出につなげていきたい。



沼津市新中間処理施設（完成イメージ図）

人事

【人権擁護委員の推薦】

岩崎 守富 氏

葛本 志津江 氏

を人権擁護委員に推薦することに同意した。

討論 一般廃棄物の処理に関する事務の委託に係る協議

可燃ごみの安定的な処理を可能にする

賛成
です

廃棄物の処理は、町民生活に密着したひとときも止めることのできない重要な事業であり、町の責務である。

廃棄物の処理に関する施設を持たない町にとって、すべての可燃ごみを安定的かつ長期にわたり適正に処理を行うための有意義な規約である。町の廃棄物に関する事業が、より一層安定的に推進されることを期待する。

（田代 稔 議員）

巨額の負担は町民生活に影響を与える

反対
です

新中間処理施設の稼働予定は令和11年であるのに、ここで規約を結ぶのは建設負担金を拠出する根拠にするためである。

私の試算によると、当施設の負担金は約35億円にも上り、新たな巨額の負担は他の事業を圧迫し、町民生活に必ず影響を与える。

財政的な負担も含めて、町民に十分な説明もしないまま規約を定めることは、認められない。

（吉川 清里 議員）

10人が町政を問う

「一般質問」とは、行財政全般にわたる議員主導による政策の議論です。

Point



玉川卸団地線沿線をまちづくりの拠点に

計画が進んでいる玉川卸団地線の新たな道路整備や沿線地域の開発による企業誘致・留置、移住・定住に向けた土地利用策について問う。



はなどう はるみ
花堂 晴美

問 玉川卸団地線沿線の整備の実現可能性は

答 都市計画決定に必要な事前協議に着手する

問 都市計画マスタープランでは、生活利便施設、居住機能の誘導、公共交通拠点機能の導入などを計画しているが、県との協議の進捗状況及び実現可能性は。

答 (都市計画課長) 県との協議については都市計画マスタープランの改定及び立地適正化計画を策定する際に、内容を確認していただいている。

現在検討を進めている土地区画整理事業を活用したまちづくりについても、随時県と情報の共有を図っており、事業の進捗に合わせ、都市計画の決定において必要となる事前協議に着手したいと考えている。

問 沼津卸商社センター、商工会、行政が卸団地や周辺地域の将来について協議する場を設定し、まちづくりを進める必要があると考えるが見解は。

答 (都市計画課長) 地元企業等の関係者を対象とした意見聴取や情報収集なども実施しながら、土地利用の需要調査などを進めていきたいと考えている。

保育士の確保対策は

問 清水町幼稚園・保育所再編計画の下では、現在町立保育所、幼稚園に勤務する保育士及び幼稚園教諭の雇用はどうなるのか。

答 (こども未来課長) 廃園する2つの幼稚園と1つの保育所の幼稚園教諭・保育士を残る施設に集約することで、不足を解消する計画としている。職員の任用については、正規職員は配置変更により対応し、会計年度任用職員については、今後の保育ニーズの状況等を踏まえて対応していく。

問 保育士不足は長年の課題であり、その本質的な理由である処遇や労働環境を改善する必要がある。清水町幼稚園・保育所再編計画による対処療法的な考えで、保育士不足を解消できるのか。

答 (こども未来課長) 幼稚園・保育所の再編により廃園する幼稚園、保育所の幼稚園教諭・保育士を残る施設に集約するとともに、民間活力の導入により児童の受入れが拡大することによる待機児童対策と保育士確保対策の両方に効果があると考えている。

質問者の動画が見られます



問 町の危機管理体制における課題は

答 町全体の防災意識の向上



飯田 安雄

Point

先の能登半島地震により防災への備え、避難行動要支援、共助訓練などの大切さをより深く考えさせられたため、町の危機管理体制を問う。

問 自主防災会の実情を踏まえた町の危機管理体制の現状と課題についての考えは。

答（くらし安全課長）被害想定に基づく食糧備蓄計画や応急給水計画などによる計画的な備蓄品の整備と防災訓練を定期的に行うことで災害発生に備えている。

防災・減災に関する適時適切な情報の発信や町

関係機関及び自主防災会との連携強化による実践的な訓練の実施などにより、町全体の防災意識をさらに高めていくことが課題と認識している。

問 南海トラフ巨大地震における給水・液状化問題への対策は。

答（くらし安全課長）給水計画では、飲料水兼用貯水槽など100トンの応急給水を行った後、備蓄してあるペットボトル水を飲料水として活用しながら、順次、協定先や沼津市水源池に対し給水を依頼していく。

液状化対策では、市街地液状化対策推進ガイドラインに基づき、被災情報の収集、連絡、概要の把握を行い、応援協定を締結した土木関係事業者などの協力により、上下水

道等の地下埋設物の復旧・復興につなげていく。

問 災害時のトイレ問題への対応は。

答（くらし安全課長）発災直後から3日間は携帯トイレと簡易トイレの利用を促し、人員の参集状況やインフラの被害状況に応じて、マンホールトイレや仮設トイレの設置をしていく。携帯トイレの備蓄は計画的に拡充を図っていくが、全町民分の必要日数分を確保することは困難であるため、各家庭での備蓄を促す啓発を積極的に行っていく。

積極的な人材確保の取組を

問 町が求める人材を採用するための取組は。

答（総務課長）ホームページの職員採用サイトのリニューアルや採用試験の改善を行った。保育士・幼稚園教諭の募集には、県内の大学、専門学校等を訪問しPRしていたが、県外にも拡充しリクルート活動をしている。

問 技術職員の人材確保の考えは。

答（総務課長）地元の高등학교等に対するリクルート活動を充実させていきたいと考えている。



幅広い仕事に挑戦できます

質問者の動画が見られます





が聞きたい

Point



ゆうすいポイントに交換できる
まち歩きアプリ「PLUS-Walk 清水町」



もりの かほ
森野 夏歩

問 町民の健康意識の向上を

答 体組成計の活用機会を増やしていく

町民の健康意識の更なる向上のために、まち歩きアプリと体組成計の活用について伺う。
加齢による耳の聞こえが認知症のリスクとなるため、本町の対策を伺う。

問 まち歩きアプリPLUS-Walk 清水町に体重、睡眠、血圧の項目を入れた経緯と登録人数は。
答 (健康づくり課長) 健康の基本情報の見える化のために取り入れた。令和6年4月の1カ月間に各項目を週2回以上登録している人の人数は、体重が881人、睡眠が335人、血圧が259人である。

問 愛知県蒲郡市の体重測定100日チャレンジを本町で取り組めないか。
答 (健康づくり課長) 蒲郡市のイベントは、有効な事業であると考えている。アプリの導入から一年半しか経過しておらず、まずはウォーキングの普及を進め、体重記録等を活用したイベントも、先進事例を参考に検討していく。

問 町保有の体組成計を活用するべきでは。

答 (健康づくり課長) 町民の関心も高いことから、できる限り測定できる機会を増やしていきたい。体組成計は保健師の指導などにより健康維持に寄与することから、各種イベントや教室で適切かつ効果的に活用できるように検討していく。

加齢性難聴への対策を

問 加齢性難聴の早期発見の対策はしているのか。

答 (福祉介護課長) 町では加齢性難聴の早期発見を目的とした検査等を行っていない。高齢者の難聴は認知症の危険因子の一つと言われ、介護予防の観点からも、その実態や早期の把握につながる有効な手法を今後調査・研究していきたいと考えている。

問 早期発見のヒアリングアプリ導入の考えは。

答 (福祉介護課長) 操作や難聴の状態のチェックといった運用のほか使用後の具体的な対策の確立などについて課題があることから、先行事例を今後の参考にしていきたい。

問 補聴器購入補助の考えは。

答 (福祉介護課長) 国による公的補助の制度化を求めている自治体もあり、県町村会からも国や県に対し、高齢者の補聴器購入助成の創設について要望を提出している。町でも、国による制度化が望ましいと考えているが、県内でも制度を創設する市町が年々増えている現状を踏まえ、引き続き国の動向を注視し、県内市町の実施状況の把握に努めるとともに、先行事例の実施内容を研究していきたいと考えている。

質問者の動画が見られます



問ごみ焼却場建設負担金の財政への影響は

答新たな中期財政計画に反映する



よしかわ きより
吉川 清里

燃ごみ処理実績の数値で試算すると、清水町11・81%、沼津市88・19%となる。

問 国の交付金の見込みは。

Point

沼津市新中間処理施設（ごみ焼却場）建設の負担金割合が合意された。清水町の負担が町財政に与える影響は大きいのではないかと。

問 負担割合は、国の交付金を除いた額の20%を均等割、40%を人口割、40%を実績割としている。人口割と実績割の具体的な数字は。

答（くらし安全課長）算定の基準日は今後協議し決定するが、人口割を今年4月1日の人口で試算すると、清水町14・52%、沼津市85・48%となり、実績割を令和4年度の可

答（くらし安全課長）財源となる国の循環型社会形成推進交付金の交付率は、焼却施設のうち、エネルギー回収に関わる部分は2分の1、その他の焼却施設は3分の1である。現在までの全体事業費に対する交付金の交付率は、4分の1程度である。

問 建設費を基本設計で提示された230億円として私が試算すると、清水町の負担金額は約35億円となる。財源はどうするのか。

答（総務課長）主に町債の一般廃棄物処理事業債

の使用を想定している。充当率は国庫補助対象事業分では90%、単独事業分では75%であり、元利償還金に対する交付税措置の割合は、国庫補助対象事業分では50%、単独事業分では30%である。

問 中期財政推計では、令和10年度の町債残高が98億円に対し、財政調整基金は9800万円しかない。新たな負担金の町債は財政にどのような影響を与えるのか。

答（町長）他の行政課題を事務事業評価により事業の必要性及び効果を再度検証し、優先順位の明確化、実施時期の繰延べ、財源確保に努めるなどして新たな中期財政計画に反映し、最大限、町民生活に影響を及ぼさないような財政運営に努める。

災害時の携帯トイレの普及を

問 災害時、トイレが使えないと衛生上や心理的に大きな影響を及ぼす。凝固剤で固めるタイプの携帯トイレを各世帯に配布してはどうか。

答（くらし安全課長）財政的に非常に難しい。携帯トイレの備えが進むよう普及啓発に努めていく。

問 避難所にもなる学校体育館に国の交付金を活用して空調を整備すべきでは。

答（副町長）熱中症への対策や避難所としての快適性の確保は認識をしているため、今後の学校体育館の大規模改修や改築の際には社会情勢や財政状況等を考慮し、是非を決定していく。



災害時に携帯トイレの備えがあれば安心

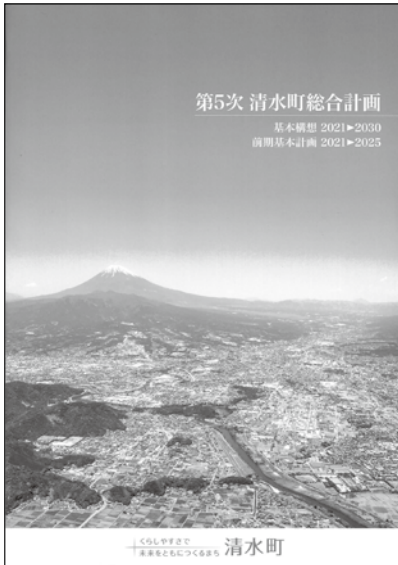
質問者の動画が見られます





が聞きたい

Point



人口減少社会への対策とは何か



おおはま ひろし
大濱 博史

町の未来を考える上で、人口減少社会への対応は猶予のない課題と捉えている。若年層へ向けた施策と持続可能な清水町を実現するための施策を伺う。

問 人口減少社会に対応した施策を

答 住み続けたいまちを目指す

問 町が推進する若年層への施策について、今後の方針や計画は。

答 (企画課長) 大学等新幹線通学支援制度の継続のほか、沼津商業高等学校と連携した周遊マップの作成や町のグルメ商品の開発・販売など若年層が中心となった町の魅力の掘り起こしを進め、若者の郷土への愛着を深めたい。

問 町の若者が定住しやすい環境づくりの施策は。

答 (町長) 第5次総合計画の将来都市像に掲げた「くらしやすさ」を追求していく過程の中で、国や県の動向に注視しつつ、町の今ある魅力や潜在的な魅力ある施策についても検討を重ねていく。

また、全ての年代の方がこれからも町に住み続けたいと思っただけらう、町民の皆様の暮らしに直結する施策を一步一步着実に推進していきたい。

持続可能な清水町の実現を

問 インクルーシブ教育(障がいのある無に関らず全ての子供がともに教育を受けること)の構築は、持続可能なまちづくりに向け、大きな役割を果たすと考えている。その課題と今後の計画は。

答 (教育長) 個別の事情に応じた支援を必要とする児童生徒が年々増加し、対応する教員の確保や育成に大変苦慮している現状が課題である。

また、町の教育施策は、国籍、性差、宗教、障がいの有無等に関わらず、多様な子供たちの特性に合わせた取組を継続して積み重ねており、今後引き続き多様な教育支援の充実に努めていく。

問 持続可能なまちづくりに、役場職員や地域を支える人材の確保と育成も重要と考えている。町の考えは。

答 (町長) 今年度の職員採用試験から、公務員試験専用の勉強をしながらも受験できる職務能力試験を導入した。また、インターンシップの柔軟な受入れのほか、高校や大学等への働きかけを強化し、特に保育士・幼稚園教諭は県内外の学校へのPRを実施するなど人材確保に努めている。

業務経験の積み重ねが職員の資質向上につながるため、職場が人を育てるという意識の下、町民に信頼される職員となるよう育成に努めていく。

質問者の動画が見られます



問 学童保育の長期休暇中の昼食対応は

答 夏休み中に限定的に試行



まつした なおみ
松下 尚美

問 ICT端末の放課後児童教室での使用は。

答（こども未来課長） 低学年から高学年までの児童が一つの教室で利用をしていることや学校の教室と異なり、個人の机がないことなどから、学校から貸与されたICT端末を壊してしまう危険性があるため、現在のところ使用を認めていない。

問 以前より要望があった長期休暇中の昼食対応は。

答（こども未来課長） 今年度の夏休みに限定的に試行する予定である。

問 長期にわたる物価高騰の影響で家計が苦しくなっている世帯に対して、利用料の減免等の対応は。

答（こども未来課長） 減免を実施している他市町と比較して、おやつ代等を含めた利用料が低額であること、また、限られた利用者であることなどから、現時点において、利用料の減免は考えていない。

外国籍児童生徒への対応は

問 日本語を全く話せない児童生徒への対応は。

答（教育総務課長） 学習面では、西小学校及び清水中学校において、日本語指導教室を各2クラス設置しており、学級から離れた個別の日本語の習得を中心とした授業を行っている。学校生活面では、外国籍児童生徒学校等生活支援員やALTのほかボランティアによる支援を行っている。

問 学校への入学・編入を予定する外国籍の子どもを対象に、プレクラス等の初期指導教室を導入する考えは。

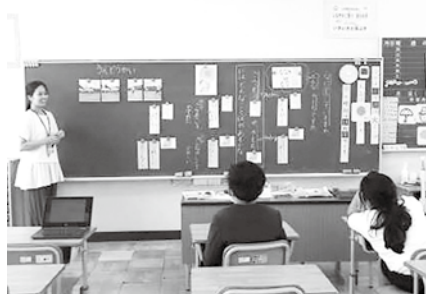
答（教育長） 必要性は大きいと感じている。教室の整備や教職員の配置など、解決しなければならぬ問題が多数あり、実施できていない状況であるが対応可能な部分から対処していく。

Point

今年度より清水小学校及び南小学校放課後児童教室の業務委託先が変わった。集団の中で子供に保障すべき生活環境や事業内容の継続性が確保され、さらに保育サービスの質の向上が図られるのか伺う。

問 保育の質の向上と利用者へのサービス拡充のため保護者・児童へのアンケート等を行う予定は。

答（こども未来課長） 今年度、利用している児童の保護者へのアンケート調査を実施する予定である。



言葉の壁をなくし学校生活を楽しいものに

質問者の動画が見られます





が聞きたい

Point

雑誌やインターネット上で終活という文字が目を引き。「終わり良ければ、すべて善し」と言われるが、終活支援に向けた取組を伺う。



寺島 俊郎

問 終活登録制度の導入を

答 先進事例を注視し調査・研究を進める

問 町では終活ガイドブックに該当する冊子を作成しているのか。

答 (福祉介護課長) 令和元年9月に人生会議ノートを作成した。終活を記録できる人生会議ノートに加え、健康状態の記録や健康長寿の勧めなどを記載した私の健康づくりノートを1冊にしている。

問 人生会議ノートが作成された目的は。

答 (福祉介護課長) 平成30年に厚生労働省において、人生の最終段階の医療やみとりケアなどを事前に考え、本人の意思決定を支援する取組であるアドバンス・ケア・プランニング(ACP)の愛称を人生会議とし、取組が始まった。町でも、在宅医療・介護連携推進会議において、住み慣れた地域の中で高齢者一人一人が自分らしく生活を送り、尊厳ある最期を迎えることができるよう、人生会議ノートの作成に至った。

問 人生会議ノートの改訂は。

答 (福祉介護課長) 3年に一度、内容の見直しを行っている。今年は改訂

の年になることから、在宅医療・介護連携推進会議において、法制度の改正や様々な専門家の方からの意見を反映させ、見直し・改善を行うよう、現在準備を進めている。

問 終活登録制度の導入を。

答 (福祉介護課長) 独り暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増え、多様なニーズに対応できる高齢者支援の仕組みづくりが必要と考えているが、制度には、本人が指定した関係機関との連携や伝達方法など、検討しなければならぬ課題が多いと認識している。制度の導入は、各関係機関との協議・検討が必要であり、近隣市町の動向や先進事例を注視しながら調査・研究を進めたい。

高齢者のための賠償保険加入を

問 認知症高齢者の事故に備えて賠償責任保険の加入を。

答 (福祉介護課長) 認知症などで行方が分からなくなる可能性がある方々をあらかじめ登録し、衣服等に二次元コードの見守りシールを貼ることで速やかに身元確認等ができる徘徊高齢者見守り支援事業に、保険加入を組み合わせて行う方法などがある。制度の導入は、特定の個人を対象とすることから、制度の在り方を含め、今後慎重に調査・研究していきたい。

質問者の動画が見られます



問 児童遊園地トイレの洋式化を

答 適切な整備をしていく



うんのとよひこ
海野 豊彦

Point

身近な問題である児童遊園地トイレの洋式化への提案と空き家等対策の現状と今後の取組について問う。

問 児童遊園地等のトイレで洋式化されているところは。

答（都市計画課長） 16カ所の児童遊園地のうち、本長沢区の旧道広場と昨年度に改修を終えた外原区の児童遊園地の2カ所である。

問 トイレの洋式化のメリット・デメリットは。

答（都市計画課長） メリットは、座った姿勢で用

を足せるため、足腰に負担がかかりにくく、子供や高齢者など多くの方にとって使いやすいことである。

デメリットは、清掃が容易ではないこと、不特定多数の方が直接便器に触れるため、衛生面が不安視されることである。

問 児童遊園地のトイレに関する各区からの要望は。また、洋式化を進めていく考えは。

答（都市計画課長） 昨年度までに洋式化への改修要望が4区、老朽化による改修等の要望が2区であった。

今後も、公共トイレとして、利用者の特性や利用人数等を踏まえ、適切な整備をしていきたい。

町の空き家等対策は

問 空き家等対策の現状と清水町空き家等対策計画に基づく取組状況は。

答（都市計画課長） アンケート調査や現地調査により空き家等に関するデータベースを整備している。また、空き家等に関する問題は多岐にわたることから、相談窓口を一元化した総合窓口を設

置しているほか、県との共催によるワンストップ相談会を定期的に開催するなど、空き家等の対策に取り組んでいる。

なお、具体的な相談があった際には、個別に対応し、所有者等の情報を調査した後に、関係権利者等への啓発を実施している。

問 空き家等対策として、除却費用の支援制度の検討を含め、今後の取組は。

答（都市計画課長） 支援制度の創出は、県内市町の状況等を調査・研究し、検討を進める。また、状況に応じて清水町空き家等対策協議会を開催するなど、引き続き空き家等の適正管理の促進に努めていく。



改修前



改修後

洋式化で使いやすいトイレに

質問者の動画
が見られます





が聞きたい

Point

町の観光振興事業がどのように進められているのか。周辺地域の魅力的な観光資源との連携や地域資源の掘り起こしによる今後の観光振興を問う。



たし るみの
田代 稔

問 観光振興の現状と今後の方向性は

答 新しい観光資源を模索していく

問 人気アニメを活用した取組の効果や成果は。

答 (産業観光課長) 昨年7月から11月まで柿田川公園駐車場ではイラスト入り領収書を発行し、利用台数は前年の1・2倍、観光案内所の来館者数は1・1倍となった。同年11月に実施したデジタルフォトビンゴでは、イベント告知のSNS閲覧者は9万5000人、イベント専用サイトの訪問者

は8000人を超えた。また、当日の参加者は865人で県外からの参加者は255人であった。

問 観光振興事業を進める関係団体との協議会等の開催は。

答 (産業観光課長) 町商工会とふるさと納税の返礼品等、特産品の開発について意見交換会を開催している。

また、県東部7市町及び各観光協会等で構成する富士地区観光協議会や静岡県東部地域コンベンションビュロー、一般社団法人美しい伊豆創造センターに参画し、観光協会等と各種イベントや広報事業を実施している。加えて、観光学生ボランティアガイド養成事業では、清水町観光ボランティアガイドの会の協力

を得るなど、様々な団体や協議会等と意見交換や情報共有をし、連携を図っている。

問 せせらぎ湧水の散策コースの情報発信を拡充する三島市との連携を提案するが町の考えは。

答 (産業観光課長) 三島市とは共に富士山の伏流水が湧く水のまちとして、観光の相乗効果が期待できるものと考えている。三島市とのタイアップは、散策マップのリニューアルを図るなど、相互の魅力をさらに向上させるよう努めていく。

問 町が目指す観光振興と今後の方向性は。

答 (町長) 柿田川をはじめ丸池や本城山などの地域資源を守りつつ、新しい観光資源を模索していく。

また、学生観光ボランティアの活用など、若い世代からの提案や地域の皆様からの意見等を伺いながら、町の新たな魅力や観光資源としての価値を見いだしていくことで、地域の方々がまちへの愛着を深めながら地域の価値を高めていけるような観光振興を目指していく。

質問者の動画が見られます



三島市との更なる連携により魅力あるおもてなしと情報発信に期待が膨らむ「せせらぎ湧水の散策コース」

問 公共施設の使用料等の見直しは

答 適切な時期を捉えて実施する



まつうら しゅんすけ
松浦 俊介

の利用が大きく減少する状況となり、見直しの検討を一時中断せざるを得なかった。

問 笑街健幸。バスポート事業で、65歳以上の町民を対象に町内体育施設の使用料を無料化したところ、一部施設では、休みの日に一般の利用が難しくなっている事例がある。

ニーズが高く利用が限定される施設は、高齢者の使用料の無料化は、平日の日中・昼間に限定にするなどの制限の必要もあると考える。

消費税増税や光熱水費など物価・人件費の上昇、近隣自治体の公共施設の状況などから、町公共施設の使用料等の見直しの議論を行う時期では。

答 (企画課長) 令和2年度に見直しに着手予定だったが、新型コロナウイルス感染症が広がり、行動制限により公共施設

答 (町長) 笑街健幸バスポート事業の効果等を注視するとともに、使用料の見直しは、今後の公共施設の利用促進、町民の利便性の向上とそれに資する政策を見据え、適切な時期を捉えて実施していく。

新型コロナ対応記録の周知を

問 昨年11月議会の一般質問で、新型コロナウイルス感染症対策の総合的な検証を行い、報告書を作成し公表することは、今後の感染症対策や災害対策などの危機管理において、必要不可欠であると提案したところ、5月27日に作成され、ホームページにも公開された。

答 (副町長) 報告書の内容を町民の皆様方と広く共有し、当時の切迫性などの記憶の風化を防ぎ、危機管理に対する意識の高揚を図るとともに、新たな危機に直面した場合、迅速かつ適切に対応できるように活用していく。

答 (副町長) 報告書の内容を町民の皆様方と広く共有し、当時の切迫性などの記憶の風化を防ぎ、危機管理に対する意識の高揚を図るとともに、新たな危機に直面した場合、迅速かつ適切に対応できるように活用していく。

新型コロナウイルス感染症対応の記録



中野マルシェ 高田駅前消毒ステーション
新型コロナウイルス対応した中野マルシェ 駅前消毒ステーション

2024年(令和6年)3月
静岡県駿東郡清水町

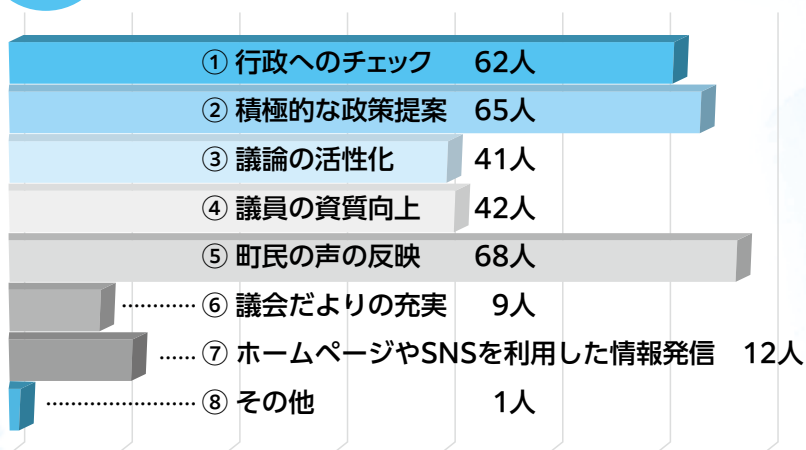
新型コロナ対応の経験を今後活かす

質問者の動画
が見られます

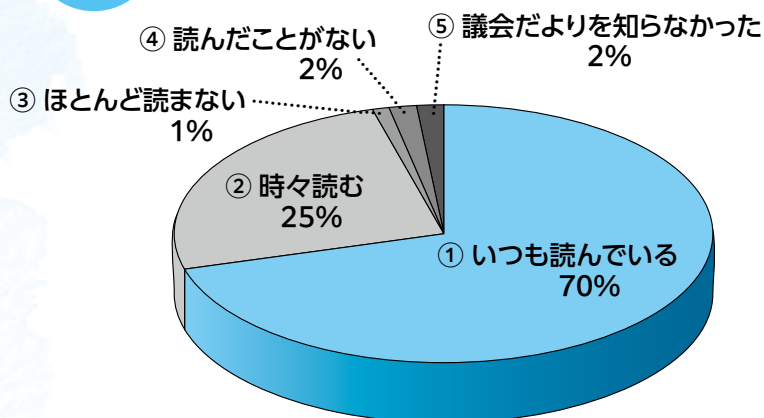


議会へ

質問3 議会・議員に期待すること(複数回答)。



質問4 議会だよりを読んだことがあるか。



質問5 傍聴の感想・意見(自由記述)。ここでは一部を掲載します。



いいね!

- ・初めて傍聴して、雰囲気を感じることができた。また傍聴したいと思った。
- ・議会の様子がわかった。
- ・実際に聞くことで、町の問題点に目を向けるようになった。
- ・活発な討議、忖度不要なやり取りを今後も期待する。



もっとこうしたら!?

- ・ライブでの議会中継を行ってほしい。
- ・従来の「〇〇君」での呼称を「〇〇さん」に改めてはどうか。
- ・質問している人の表情が見たい。
- ・小学校区ごとに議会報告会を開催しては。
- ・一般質問では、質問より自分が調べた内容が多く、何を発表しているのかわかりにくい。

傍聴者へのアンケート

広報広聴委員会では令和5年3月から、議会を傍聴した方にアンケートを実施し、令和6年3月までの約1年間に延べ111人から回答を得ました。

アンケートを通して、皆様の関心がどこにあるのかがわかりました。ご協力いただいた方に対し、厚くお礼を申し上げます。

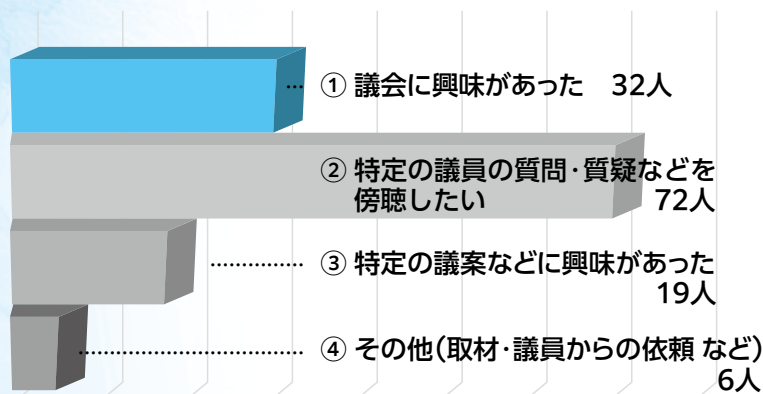
今後の議会運営の参考にさせていただき、より議会を充実していきたいと思っています。



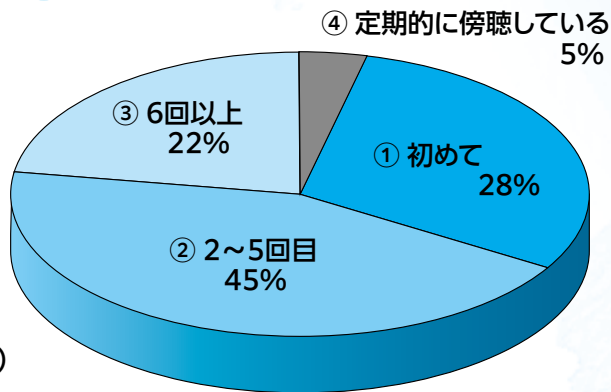
どなたでも自由に傍聴できます

ようこそ

質問1 傍聴の目的は(複数回答)。



質問2 傍聴の回数は。



議会運営委員会

委員会 行政視察

先進地に学ぶ 会派代表質問・デジタル化の推進

令和6年4月22日

視察先: 駿東郡小山町

小山町では、平成25年3月から会派代表質問を行っています。また、議員用タブレットの運用は令和元年11月から始めています。



利根町で電子採決を体験

令和6年5月14日~15日

視察先: 東京インタープレイ(株)、茨城県北相馬郡利根町

東京インタープレイ(株)では、全国714自治体(県内18自治体)での導入実績があり、タブレットの操作等を体験して利用性を実感しました。利根町では、令和3年3月から会派代表質問を行っています。タブレット端末は令和3年2月に導入しています。

それぞれの視察先では、導入までの経緯、メリット・デメリット、費用などの質疑応答を活発に行いました。現在、会派代表質問は、実施に向けた検討を開始しています。デジタル化の推進は、予算を伴うため、町との調整をしつつ、費用対効果等も精査しながら進めていきます。

ホタルまつりで まちを盛り上げよう！



6月16日に卸団地で開催された第8回ホタルまつりin清水町の会場で、主催者の清水町ゆすい商店会川口会長にお話を伺いました。

—ホタルまつりを始めようとしたきっかけは。

私たち商店会は、清水町の水文化の繁栄と地域を盛り上げよとの想いからホタルまつりを始めました。

—来場したお客様の反応はどうですか。

昨年よりも大変多くの方に来場いただき、ステージイベントや各ブースに溢れんばかりの人垣ができているのを見て、驚いています。

—開催にあたって苦労したところは。

会場の手配、ステージ出演者の交渉、協賛企業への依頼、広告宣伝と当日のスタッフ手配に苦労しました。

—今後ホタルまつりをどのように展開していきたいですか。

イベント内容をもっと見る・聞く・体験できる楽しいものにして、周辺市町からも多くの方に来ていただき、町を代表する祭りの一つとなれるように、創意工夫して盛り上げていきたいと思っています。



来場した子供たちに感想を聞きました。

—ホタルはどうでしたか。

暗いところにたくさんホタルが光っていて、飛んでいるのもたくさんいたよ。楽しかった。また見にきたい。



ふるさとの思い出のページとして皆さんの心に残り、郷土愛を育んでいただければと思います。

会場運営で多忙な中、丁寧に答えていただいた皆様に感謝いたします。
(インタビュー 田代)

お知らせ

議会を傍聴してみませんか

傍聴を希望する方は、本会議の当日、役場5階の受付係に申し出ていただき、傍聴券の交付を受けてください。

皆さんの傍聴をお待ちしています。

次の定例会は

9月2日 午前9時
開会予定です。

編集後記

ホタルを身近なイベント会場で観賞できるホタルまつりは、町の初夏の風物詩となってきたおり、毎年多くの来場者で溢れています。今年は3150人の来場者がありました。

さて、今回は令和5年3月から1年間、議会を傍聴した皆さんに回答いただいたアンケート結果を掲載しました。

「議会だより」は、これからも町民の意見を伺いながら、町民の皆様と町議会をつなぐことを目指して、充実した内容に努めてまいります。
(田代)

発行・編集責任者

議長 佐野 俊光

広報広聴委員会

委員長 松下 尚美

副委員長 野田 敏彦

委員 大濱 博史

寺島 俊郎

田代 稔

森野 夏歩

この議会だよりは1万2700部製作し、1部当たりの製作費は約23円です。